

業務実績にかかる小項目評価 修正箇所抜粋版

大項目	中項目	小項目	小項目 番号	R2年度事業		R3年度事業		
				法人 自己評価	本市 評価	法人 自己評価	本市 評価 (案)	市評価の判断理由（実施状況等）
Ⅰ 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置								
Ⅰ－①	Ⅰ－① 大阪の知を拓く							
	2	2 幅広い活動及び連携を通じた博物館等の魅力の効果的な発信						
		15 博物館等資料の貸出し及び他の博物館等関係機関の資料の借用	15	3	3	3	4	【博物館機構】 各館と計画通りに実施し、コロナ禍ではあったが美術館では自主企画の特別展、特集展示が多かったため借用が前年に比べ約2.5倍となった。 また、科学館では、独自開発の企画展を全国に展開した。 【市評価】 科学館独自の企画展（南部楊一郎生誕100周年企画展）が機構として初めて全国展開したということは高く評価できる。
Ⅰ－③	Ⅰ－③ 学びと活動の拠点へ							
	7	7 こども及び教員等への支援						
		35 こども向けワークシートの作成及びワークショップ等の実施	35	3	2	3	3	【博物館機構】 デジタルコンテンツに置き換えるなどして、実施する事業もあったが、コロナ禍のため中止になる事業が多かった。 【委員会意見】 市美の「ー」の評価に違和感がある。 要望がないから実施しなかったということで、本当いいのか？対面でなくとも他の方法での実施ができたのではないか？ また、昨年度実施した学校に対して声かけするといった、行動は実施していたのか？ 【市評価】 市立美術館に関しても十分とは言えないものの代替措置等を行っているということで2の評価としており、機構全体の取組としては3と判断する。
Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置								
Ⅱ	11	11 人材の活用と育成						
		51 包摂的な社会にふさわしい人材の獲得	51	3	3	4	3	【博物館機構】 機構発足後、継続して独自採用や民間採用等、職種を問わず多様な人材の確保に向け採用活動を積極的に行った。なお、障がいを持つ方についても翻訳アプリを使った採用手法を実践し、採用面接を実施した。（採用後、本人都合により辞退） 【委員会意見】 障がいを持つ方に対し、翻訳アプリを使用するなど採用手法を工夫している点については、評価できるものの、本人都合とはいえ、最終的に人材の獲得にいたっていないのであれば、評価は3ではないか？ 【市評価】 通常採用時に障がいのある方が応募された際の翻訳アプリを使用するなどし採用した点は評価できるものの、本人都合で辞退したとはいえ、最終的には獲得にいたっていないことから本市評価は3とする。